



近藤竜男は、1933年に東京に生まれ、1955年に東京藝術大学油画科を卒業。1961年渡米、以後2001年の帰国までニューヨークで作家活動が続けたかわら、ニューヨークアートシーンについてのフレッシュなレポートを日本の美術誌に発信しつづけたことでも知られています。

昨年スタジオの一隅より渡米前の1955年から1960年にかけて制作された未発表ドローイングが300点余り発見されました。ニューヨークにおけるコンパインヤストライプによる平面作品はつとに有名ですが、1950年代の本格的な平面作品は、人々の目に触れる機会が近年はほとんどなく、2002年の練馬区立美術館における回顧展において一部が展示されたのみです。

昨今、日本の1950年代美術に対する関心が国内外で高まり、様々なかたちで検証されていますが、同時代において一人の作家によってなされた模索と葛藤の軌跡を今日において展観することもまた意義のあることと考えられます。

近藤竜男が1950年代後半に作家的出発を遂げる、主要タブローの始原とも呼ぶべきドローイング46点が作家自身によって選ばれ、ここに発表される運びとなりました。皆様に御高覧いただければ幸いと存じます。

関連企画として、シンポジウム「近藤竜男と1950年代のアートシーン」を開催致します。

展覧会開催概要

- 会 期 : 2013年2月4日(月) - 16日(土) 休廊日: 日曜・祝日
 開廊時間: 10:30 - 18:30
 会 場 : ギャラリー東京ユマニテ <http://g-tokyohumanite.jp/>
 〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-18 昭和ビルB2F / tel. 03-3562-1305 / fax. 03-3562-1306 / e-mail: humanite@js8.so-net.ne.jp
 主 催 : 一般財団法人M&T KONDO 美術財団
 〒177-0054 東京都練馬区立野町11-29 潮荘5号 / tel・fax: 03-3594-5123 / e-mail: m.t.kondo.12@gmail.com

関連企画 シンポジウム「近藤竜男と1950年代のアートシーン」

- 日 時 : 2013年2月9日(土) 15:00 - 17:00
 会 場 : スタンダード会議室 京橋店 6F・C会議室 〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-20 京橋ビル
 パネリスト: 河口 龍夫 (現代美術家)
 野田 吉郎 (東京大学大学院博士課程)
 司会進行: 辺見 海 (編集者)

※入場無料・要予約 予約はギャラリー東京ユマニテまで電話、fax、e-mailでお申し込みください。

パネリスト 略歴

河口 龍夫 (現代美術家、筑波大学名誉教授、京都造形芸術大学客員教授)

1940年兵庫県生まれ、1962年多摩美術大学卒業。近年の主な個展: 京都市美術館(1999)、兵庫県立美術館(2007)、名古屋美術館(2007)、発電所美術館(2008)、東京国立近代美術館(2009)、いわき市立美術館(2012)

主なグループ展: 「東京ビエンナーレ1970 人間と物質」、「第8回パリ・ビエンナーレ」(1973)、「前衛芸術の日本」(1986)、「大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ」(2000.03.12)、「瀬戸内国際芸術祭2010」

<http://www.tatsuokawaguchi.com/>



野田 吉郎 (表象文化論、美術批評)

1981年東京都生まれ、東京大学大学院総合文化研究科博士課程在籍。表象文化論、美術批評。論文に「高松次郎《の》アライバイ崩し」(『Jiro Takamatsu Critical Archive』ユミコチバアソシエイツ、2012)など。



辺見 海 (編集者)

1972年神奈川県生まれ。1994年慶應義塾大学環境情報学部卒業。『版画芸術』(阿部出版)編集部を経て現在フリー。